

「生理学」、「解剖学」、「解剖学演習 I」の課題を下記に示します。それぞれの課題について次の要領に従ってレポートを作成・提出してください（担当:上）。

- ①教科書あるいは関連図書を熟読してレポートを作成してください。
- ②レポートは A4 サイズの用紙に横書きで作成してください。
- ③レポートは手書きで作成してください。
- ④「解剖学」と「生理学」の課題で作成した文章には、重要と思われる箇所にアンダーラインを引いてください。
- ⑤文字数の制限はありません。各課題に対して適切と思われる分量でまとめてください。
- ⑥すべての課題に関するテストを行います（成績不良者には再テストを行います）。

解剖学

講義で使用する教科書「標準理学療法学・作業療法学 解剖学・第1章 解剖学総論(p5～p20)」あるいは関連図書を熟読して、下記の課題についてまとめなさい。

- 1)「①解剖学的位置」および「②人体の基準面」とは何かについて説明しなさい。
- 2)「①人体の区分」と「②人体の腔所」について説明しなさい。
- 3)「人体の構成」について説明しなさい。

解剖学演習 I

下記の課題に取り組みなさい。

- 1)講義で使用する教科書「標準理学療法学・作業療法学 解剖学・第2章 骨格」の図2-1成人の骨格(前面)(p38)を書き写して、図中に下顎骨、鎖骨、肩甲骨、上腕骨、橈骨、尺骨、胸骨、第4肋骨、第5腰椎、仙骨、腸骨、恥骨、大腿骨、脛骨、腓骨、膝蓋骨を矢印で示し、それぞれの名称を記入しなさい。
- 2)人体を構成するすべての骨は「体幹の骨格」、「上肢の骨格」、「下肢に骨格」に分けることができます。そこで下顎骨、鎖骨、肩甲骨、上腕骨、橈骨、尺骨、胸骨、第4肋骨、第5腰椎、仙骨、腸骨、恥骨、大腿骨、脛骨、腓骨、膝蓋骨を「①体幹の骨格」、「②上肢の骨格」、「③下肢に骨格」のいずれかに分類しなさい。
- 3)講義で使用する教科書「標準理学療法学・作業療法学 解剖学・第2章 骨格」の図2-2長管骨の構造(p38)を書き写して、図中に骨膜、関節軟骨、骨端線、緻密質、海綿質、髓腔(骨髄)の位置を矢印で示し、それぞれの名称を記入しなさい。

生理学

講義で使用する教科書「生理学テキスト第8版・1章 細胞の環境、構造、機能調節(p1～p5)」あるいは関連図書を熟読して、下記の課題についてまとめなさい。

- 1)「①ホメオスタシス」、「②体液区分」、「③体液の組成」について説明しなさい。
- 2)「細胞膜の特徴」を構造と機能に分けて説明しなさい。